

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【公表番号】特表 2007-519982 (P2007-519982A)

【公表日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2007-027

【出願番号】特願 2006-551621 (P2006-551621)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 7 4

G 0 3 G 9/08 3 8 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 27 日 (2011.4.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属色相を有し、金属顔料を含んで成るトナーであって、前記金属顔料が、脂肪酸、少なくとも 1 種の酸のアミド、少なくとも 1 種の酸の塩、オレフィン系材料、天然ワックス、合成ワックス、ポリマー、およびそれらの組み合わせから選ばれる有機層を含むトナー。

【請求項 2】

前記トナーが、さらに、シリケート、チタネートまたはアルミネートのコーティングを含む、請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 3】

前記トナーが、疎水性のヒュームド金属酸化物でコーティングされたものである、請求項 1 または 2 に記載のトナー。

【請求項 4】

脂肪酸、少なくとも 1 種の酸のアミド、少なくとも 1 種の酸の塩、オレフィン系材料、天然ワックス、合成ワックス、ポリマー、およびそれらの組み合わせから選ばれる有機層を含む、トナー用の金属顔料。

【請求項 5】

前記金属顔料が、さらに、シリケート、チタネートまたはアルミネートのコーティングを含む、請求項 4 に記載の金属顔料。

【請求項 6】

a) 金属顔料に、脂肪酸、少なくとも 1 種の酸のアミド、少なくとも 1 種の酸の塩、オレフィン系材料、天然ワックス、合成ワックス、ポリマー、およびそれらの組み合わせから選ばれる有機層を付与することにより、被覆された金属顔料を得る工程、および

b) 前記被覆された金属顔料をトナー材料と組み合わせる工程、を含む、金属色相を有するトナーの製造方法。

【請求項 7】

工程 a ) において、金属顔料に、さらに、シリケート、チタネートまたはアルミネートのコーティングが付与される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

さらに、

c ) 工程 b ) から得られたトナー材料に疎水性ヒュームド金属酸化物を表面コーティングする工程、

を含む、請求項 6 または 7 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 5】

例 5 (比較) :

使用した顔料がシリケートだけで被覆されたものであったことを除き、実施例 3 を繰り返した。この結果は、金色の色相の特性が不十分であるというものであった。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 6】

例 6 (比較) :

使用した顔料はシリケートだけで被覆されたものであったことを除き、実施例 4 を繰り返した。結果は、金色の色相の特性が不十分であるというものであった。